

# 仕入先サステナビリティガイドライン

2025 年 11 月

フタバ産業株式会社

# 目次

I.	はじめに	P. 2
II.	フタバ産業の調達基本方針	P. 3
III.	仕入先サステナビリティガイドライン	
(1)	マネジメント姿勢の共有	P. 4
(2)	お客様満足	P. 5
	(安全安心・品質・原価低減・技術力の向上)	
(3)	コンプライアンス	P. 6-7
(4)	人間尊重 (人権・労働)	P. 7-9
(5)	環境	P. 9-10
(6)	社会貢献	P. 10
(7)	リスクマネジメント	P. 10
(8)	情報開示	P. 11
(9)	取引先様へのお願い	P. 11

## I. はじめに

フタバ産業株式会社および国内外グループ会社（以下、フタバグループ）は、「挑戦し、成長する集団」として、操業以来、「技術開発力」と「モノづくり力」を研鑽し続けています。2015年には「仕入先 CSR ガイドライン」を策定・公表し、新たに企業が取り組むべき社会的責任を定義し、CSRの観点で取引先様と共に事業活動を推進してまいりました。

近年、地球規模での気候変動の加速化、グローバル化に伴う人権問題の複雑化、デジタル技術の急速な進展など、企業を取り巻く環境は劇的に変化しています。これらの変化は新たな社会課題を生み出し、その解決に向けて国連により提唱されたSDGsをはじめとする国際的な取り組みが活発化するとともに、各国・地域では環境・人権に関する法的要求がより厳格化されています。持続可能な社会の実現に向けた企業の積極的な貢献は、企業存続の根幹をなす必要不可欠な要素となっています。

フタバグループは、これまでも環境に配慮した生産活動や社会貢献活動に継続的に取り組んでまいりましたが、この世界的な潮流を踏まえ、今後はより戦略的で包括的な「サステナビリティ経営」に取り組んでまいります。

また、フタバグループは、ステークホルダーの皆様と共に、我々の「Purpose」である「私たちは、地球にやさしいモノづくりを通じて、誰もが暮らしやすい社会に貢献し続けていく」の実現に向け、以下の3つの提供価値を通じて社会課題の解決に貢献してまいります。

- ① 『環境』 自然環境への負荷を低減する排気系部品
- ② 『安心』 人を危険から守り安心できるボデー・内装部品
- ③ 『豊かな生活』 生活品質を高める製品やサービス（アグリーフや新規事業等）

この様な考え方も尊重しながら、調達活動を推進いたします。

取引先様におかれましても、本ガイドラインの趣旨をご理解いただき、自社での実践はもとより、皆様のサプライチェーン全体への浸透・展開をお願いし、共に持続可能な未来社会の構築に向けて歩んでまいりたく、ご協力をお願い申し上げます。

フタバ産業株式会社

調達本部長



## Ⅱ. フタバ産業の調達基本方針

フタバ産業調達本部は、大事なお客様に満足いただける製品・サービス・価値を提供するために、以下の3点を調達基本方針として取り組んでいます。

### 1. オープンでフェアな最適調達

- ・ 仕入先選定にあたっては、安全・品質・納期・原価・技術・SE力・SDGs活動・情報セキュリティへの取り組みについて、期待値を明確にして、その達成成果を正しく評価します。
- ・ 新規売り込みに対しては、常にオープンにしており、品質・原価・技術・納期に加え、経営状況・反社会性・環境への取り組みなどを総合的に公平に判断します。

### 2. グローバル/SDGs視点で捉えた戦略調達

- ・ お客様の最適なモノづくりに貢献するために、また、新技術・新工法に対応するために、世界各地域で競争力のある調達基盤を作ります。
- ・ 各拠点の自立化により、地域毎に戦略的な調達業務が実施出来ており、また、現地仕入先を積極的に活用することで、地域社会に貢献します。
- ・ 人材育成制度を向上させ、グローバルで活躍できる人材を育成します。

### 3. 相互信頼に基づく継続的取引

- ・ 将来に向けて、長期的な取引を前提とした相互協力の下、双方向コミュニケーションや支援を通し相互繁栄を目指します。
- ・ FUTABAグループ(=FUTABA+仕入先全体)が競争力のある原価実力を確保するために中期的な視野に立った合理化活動の強化に取り組めます。
- ・ FUTABAグループとして、デジタル化を推進し、業務効率の向上および最適調達を目指します。

## Ⅲ. 仕入先サステナビリティガイドライン

フタバグループは、製品・サービス・価値の提供を通じ、持続可能な社会づくりに貢献したいと考えております。ステークホルダーの皆様から信頼される企業であり続けるため、サプライチェーン全体での競争力強化を目指し、下記項目に共に取り組んでいただきたいと思いますと考えております。

### (1) マネジメント姿勢の共有

取引先様と、次の点の取り組み姿勢を共有していきたいと考えております。

#### ■人間性を尊重する職場づくり

- ・ 従業員の人格、個性を尊重し、一人ひとりが生き生きと働ける職場づくりに努めると共に、人材育成を促進します。

#### ■長期安定的視点による経営

- ・ 常に長期的視点で経営を行い、ともに成長・発展を目指します。

#### ■現地現物に徹したモノづくり

- ・ モノづくりでは現場を徹底的に観察し、本質を見極めてチームで迅速に決断・実行します。

#### ■たゆまぬ改善

- ・ 現状に満足することなく、自らの能力や技能を向上させ、継続的な改善への取り組みを推進します。

#### ■双方向コミュニケーション

- ・ オープンで率直な双方向コミュニケーションをはかり、相互繁栄を目指していきます。

## (2) お客様満足（安全安心・品質・原価低減・技術力の向上）

取引先様と強固なパートナーシップを構築し、長期安定的に最適な価格で、グローバルにお客様の信頼・満足を獲得し続けていきたいと考えています。

### ■顧客ニーズに応える製品・サービスの提供

- ・ 顧客のニーズを把握して、社会的に有用な製品を開発・提供します。

### ■製品・サービスに関する適切な情報の提供

- ・ 製品・サービスに関する適切な情報を顧客に提供します。

### ■製品・サービスの安全安心の確保

- ・ 「安全はすべてに優先する」という考えの下、安心して業務遂行が出来る職場環境をつくります。各国・地域に定められた安全法規等を満たした製品・サービスを生産・提供します。

### ■製品・サービスの品質確保

- ・ 後工程をお客様と考え、品質を確保する全社的な仕組みを構築・運用していきます。

### ■生産・納入

- ・ 「必要なものを、必要な時に、必要なだけ」生産しています。これに向け、生産準備・生産・納入の各段階で、柔軟かつ確実な対応に取り組みます。

### ■合理化原価低減

- ・ 不断の合理化原価低減活動によるコスト競争力を実現し、低価格の製品・サービスの提供に努めます。

### ■技術力の向上

- ・ 環境・安全安心・快適で豊かな生活の3つの分野で技術の重要性が増しています。これからの社会・地球環境からの要請と共に、お客様のニーズを的確に把握し、その課題解決に向けた提案を他に先駆けて具現化する能力、そして、一人でも多くのお客様が新しい技術を享受できるよう、それを低価格で実現する能力の向上に努めます。

### (3)コンプライアンス

各国・地域の法令の遵守および法の精神を尊重すると共に、社会的良識をもった行動を取るよう努めます。

#### ■法令の遵守および法の精神の尊重

- ・ 各国・地域の法令遵守と地域文化の尊重を徹底し、コンプライアンス体制・監査システム等を整備すると共に、教育を実施します。
- ・ 法令違反や人権侵害等の防止・早期発見のため実効性のある通報・相談窓口を設置し、速やかな調査・対応と通報者保護措置を講じます。

#### ■機密情報の管理・保護

- ・ 顧客や取引先様・第三者・自社従業員の個人情報および機密情報は、正当な方法で入手すると共に、厳重に管理し、適正な範囲で利用し、保護します。

#### ■知的財産の保護

- ・ 自社が保有あるいは自社に帰属する知的財産を保護すると共に、第三者の知的財産の不正入手・使用、権利侵害を行いません。

#### ■競争法の遵守

- ・ 各国・地域の競争法を遵守し、私的独占、不当な取引制限（カルテル、入札談合等）、不公正な取引方法、優越的地位の濫用、インサイダー取引等の行為を行いません。

#### ■輸出取引管理

- ・ 各国・地域の法令等で規制される技術・物品等の輸出に関して、輸出取引管理に関する法令に従い、適切な輸出手続・管理を行います。

#### ■腐敗防止

- ・ 政治献金・寄付等は、各国・地域の法令に基づき実施し、政治団体・行政機関と透明かつ公正な関係づくりに努めます。
- ・ 不当な利益や優遇措置の取得・維持を目的に、ビジネスパートナーに対して、接待・贈答・金銭の授受・供与は行いません。
- ・ 架空取引や虚偽の取引等、その他誤解を招き得る取引を行わず、全ての取引は、公正且つ合理的判断に基づいて行い、会計帳簿等関連する情報を適切に記録・保管します。

- ・ 会社の利益に反して、個人、関係者、取引先様または第三者の不正な利益を追求する行為（利益相反行為）を一切行いません。

#### ■反社会的勢力との関係遮断

- ・ 市民社会の秩序や安全を脅かす反社会的勢力（暴力団等の組織犯罪集団）に対しては断固とした姿勢で対応し、いかなる形態においてもこれらの勢力との一切の関係を排除します。

#### ■責任ある資源・原材料調達

- ・ 人権・環境等の社会問題を引き起こす原因となりうる原材料（\*紛争鉱物・\*拡張鉱物・天然ゴム等）の使用による地域社会への影響を考慮した調達活動を行い、懸念のある場合には、使用回避に向けた施策を行います。
- ・ 定期的かつ必要に応じて、資料等の提出の協力を要請します。

\*紛争鉱物… Conflict Mineral や紛争鉱石とも呼ばれる。対象鉱物：3TG(タンタル、スズ、タングステン、金)

\*拡張鉱物… Extended Mineral や拡張対象鉱物とも呼ばれる。対象鉱物：コバルト、マイカ（雲母）、銅、

天然グラファイト、ニッケル、リチウム等の 3TG 以外の鉱物

## (4) 人間尊重（人権・労働）

「フタバグループ人権方針」を正しく理解し、実行に努めます。

- ・ 人権に関する国際規範に従い、「国際ビジネスと人権に関する指導原則」を実行の枠組みとして捉え、事業活動を行う各国・地域の法令を遵守します。
- ・ 人権尊重の責任を果たすため、企業活動による人権への負の影響を特定、予防、軽減するための人権デューデリジェンスの仕組みを構築し、これを継続的に実施します。
- ・ 自らの事業活動が人権に対する負の影響を直接に引き起こした場合、または取引先様・その他関係者などを通じた間接的な影響が明らかとなった場合は、適切な手段でその是正・救済に取り組みます。
- ・ 人権尊重の取り組みについて、進捗確認と定期的な情報開示に努めます。

#### ■差別の禁止、多様性の尊重・受容

- ・ あらゆる雇用の場面（応募、採用、昇進、異動、報酬、教育を受ける権利、業務付与、賃金、福利厚生、懲罰、解雇、退職等）において、人種、民族や出身国籍、年齢、性別、信条、宗教、性的指向、性自認、障がい、配偶者や子の有無、妊娠等を含むいかなる理由の差別を認めません。
- ・ ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン（DEI）を重要な企業成長の一つとして、取り組みを推進します。

#### ■ハラスメントの禁止

- ・ パワーハラスメント、セクシュアルハラスメント、マタニティハラスメント、モラルハラスメント、同調圧力、個人の尊厳を傷つける行為等、あらゆる形態のハラスメントを認めません。
- ・ ハラスメントに対して従業員が報告しやすいような環境と仕組みを整備し、それらの報告や苦情に対しては直ちに調査を行います。

#### ■児童労働の禁止

- ・ 子どもから教育機会を奪い、その発達を阻害するような早い年齢から仕事をさせる児童労働を認めません。
- ・ 就労可能年齢は、15歳、各国・地域の該当法令等による就労最低年齢または義務教育終了年齢のいずれか最も高いものとします。
- ・ 職業訓練や見習いについては、各国該当法令等が認める範囲のみで就労可能とします。

#### ■不法移民労働・強制労働の禁止

- ・ すべての労働は自発的であること及び従業員が自由に離職できることを確実に保証し、暴力、脅迫、債務等によるあらゆる強制労働や、人身取引を含むいかなる形態の現代奴隷を認めません。
- ・ 雇用の条件として、パスポート、公的な身分証明書または労働許可証の引渡しを従業員に要求しません。
- ・ 採用手数料など、国際規範上で不当とみなされる費用を本人に負担させません。

#### ■賃金

- ・ 最低賃金、超過勤務、賃金控除、出来高賃金、その他給付等に関する各国・地域の法令を遵守します。

#### ■労働時間

- ・ 従業員の労働時間（超過勤務を含む）の決定、及び休日・年次有給休暇の付与その他について、各国・地域の法令を遵守します。

#### ■従業員との対話・協議

- ・ 従業員の代表、もしくは従業員と誠実に対話・協議します。

#### ■人材育成

- ・ 階層や職能に応じた教育を行い、必要な知識、技術、技能を習得することを支援し、自ら問題を発見し解決に向けて行動できる人材を育成します。

#### ■安全・健康な労働環境

- ・ 誰もが安心して働けるよう、職務上の安全・健康確保を最優先とし、事故・災害の未然防止と従業員の健康づくりを支援します。

### (5)環境

環境との調和ある成長のため、地球環境に配慮した活動を継続します。

#### ■環境マネジメント

- ・ 人と自然の持続可能な共生を目指し、継続的な改善を行う環境マネジメントシステムを構築し、各国・地域の環境関係法令を遵守するとともに、環境パフォーマンスの向上に取り組みます。

#### ■カーボンニュートラル社会への貢献および温室効果ガスの排出削減

- ・ カーボンニュートラル社会の構築に貢献するため、ライフサイクル全体を通して温室効果ガス排出量の把握および削減に取り組み、省エネルギー・再生可能エネルギーの活用等によるエネルギーの有効活用を推進します。
- ・ カーボンニュートラル社会の実現を目指し、課題工程・課題材料など詳細の実態把握に努め、取引先様と協力してサプライチェーン全体での削減方策の立案と推進に取り組みます。

#### ■大気・水・土壌等の環境汚染防止

- ・ 大気・水・土壌等の汚染防止に関する各国・地域の法令を遵守すると共に、継続的な監視と汚染物質の排出削減を行い、環境汚染の未然防止にします。
- ・ 各地域の水環境特性を考慮した環境影響評価を定期的実施し、水使用量の最適化と適切な排水管理を通じて水環境への負荷軽減を図ります。

#### ■省資源・廃棄物削減

- ・ 設備の省エネ化、製品の歩留まり、工程設計および設定、梱包材の最適化など資源の使用削減に取り組みます。
- ・ 廃棄物の適正処理・リサイクル等に関する各国・地域の法令を遵守すると共に、資源の有効活用を通じてサーキュラーエコノミーの実現に貢献します。

#### ■化学物質管理

- ・ 環境汚染の可能性がある化学物質の安全な管理を行います。製品については、各国・地域の法令で禁止された化学物質を、当該国・地域において含有しません。
- ・ 製造工程においても禁止された化学物質は使用せず、各国・地域の法令で指定された化学物質に関しては、法令に基づき排出量の把握・行政への報告を行います。

#### ■自然共生社会の構築

- ・ 生物多様性と自然共生社会の構築が重要であるという認識の下、人と自然の共生を配慮した生産や調達等の事業活動に努めます。

### (6) 社会貢献

社会との共生のため、社会への貢献活動を継続していきます。

#### ■地域への貢献

- ・ 社会との共生を目指し、各地域の社会的課題に目を向け、地域社会と協力しながらコミュニティの成長と豊かな社会づくりに参画・貢献します。
- ・ 産業振興・教育・文化・スポーツ振興等への協賛や災害時支援、NPO 協働等により地域振興に協力し、従業員のボランティア活動と社会参画を促進します。

### (7) リスクマネジメント

リスクの未然防止に努めると共に、発生時に迅速・的確に対処します。

#### ■リスク管理の仕組み

- ・ 情報セキュリティ（サイバー攻撃や機密漏洩等）を含めた事業活動におけるリスクを分析し、全社的な管理の仕組みを構築および運用します。

#### ■事業継続計画（BCP）の仕組み

- ・ 地震や水害や火災等の災害及び事故・設備停止・供給停止等のリスクを最小化し、早期復旧を可能とする事業継続計画(Business Continuity Plan)を策定および運用します。

## (8) 情報開示

企業情報を公正・積極的に開示し続けます。

### ■ステークホルダーへの情報開示

- ・ 財務状況・業績、事業活動の内容等の情報をステークホルダーに対し、適時・適切に開示すると共に、オープンで公正なコミュニケーションを通じてステークホルダーとの相互理解、信頼関係の維持・発展に努めていきます。

## (9) 取引先様へのお願い

- ・ 取引先様におかれましても、本ガイドラインの内容とその趣旨を十分ご理解いただき、フタバグループと同様の取り組みを実施していただきますようお願いいたします。
- ・ 皆様の取引先様に対しても、各社のサステナビリティ方針・ガイドラインを展開いただき、サプライチェーン全体におけるサステナビリティへの取り組みの周知徹底をお願いいたします。
- ・ 浸透・普及にあたっては、サプライチェーン全体を意識して実施し、必要に応じたフォロー・是正対応を継続的に行っていただきますようお願いいたします。
- ・ 定期的な自己評価および取引先評価を行い、改善のための取り組みを継続的に実施してください。評価結果や取り組み内容については、フタバグループとの情報共有をお願いいたします。